

本 時 案 (第 一 次 1 / 2)

- 1 主 眼 分数カードを作る活動を通して、分数の量感をイメージするとともに簡単な分数の大小関係が分かる。
- 2 準 備 分数カード(一人5枚) 罫線をプリントした用紙
- 3 学習の展開

過程	学習活動・学習内容	留意点・支援
意 欲 づ く 20 分	1 分数カードを作る。 ・ 1 ~ 10までの数を使った真分数 ・ 面積図 	同じ数は使えないこと、分母は分子より大きいこと、面積図に表すことを告げる。 分数をうまく等分に区切るための方法を紹介する。
見 通 す 10 分	2 分数カードで大きさ比べをする。 ・ 同分母分数の比較 ・ 同分子分数の比較 ・ 表し方の違う等しい分数の比較	二人組で大きさ比べを行う。一枚ずつ出し合い、大きい分数を持っている方が勝ちとする。
追 求 す る	3 分数の大きさの比べ方について考える。 ・ 分母が同じ場合 ・ 分子が同じ場合 ・ 表し方は違っても大きさが同じ場合	同分母分数、同分子分数が分かりやすいように分数階段を作る。 評 同分母分数や同分子分数の大きさの比べ方、表し方が違っても大きさの等しい分数があることを理解している。 (発言・ノート)
10 分		支 分数カードを用い、分数の意味や大きさについて、視覚的に理解できるようにする。
ま と め る 5 分	4 分数の大きさについてまとめる。 ・ 分母が同じ分数では分子が大きくなると分数は大きくなる ・ 分子が同じ分数では分母が大きくなると分数は小さくなる ・ 表し方は違っても大きさの同じ分数が存在する	分数階段を縦に見たり、横に見たりしながら、分数の大きさについてまとめさせる。 等しい分数については、その存在程度にとどめ、次時につなぐ。